

2006・8・6

第2号



日本共産党
Japanese Communist Party

安藤たい作
ニュース

おかしいゾ！今の冷たい政治・・・ 実態見ずに車椅子取り上げ

先日、元区議会議員の鈴木雄二さんを通して大崎に住む高齢者の方から相談の電話を頂きました。7月いっぴいで介護保険の要介護度が2から1に、説明もなく一方的に変更されて困っている、というご相談でした。今年4月からの介護保険の改悪により、要介護度が軽度とされる「1」になると、車椅子や電動ベッドが今までのように利用できなくなり、高い費用で自費レンタルするか、購入するかという選択を迫られることとなります。ただでさえ保険料や医療費の負担に苦しむお年寄りにとってはあまりに厳しい選択です。

ところが現場に駆けつけてみると、この方は自分ひとりの力では車椅子にも載れず、部屋の中も半ばはって移動しているような状態でした。実態が反映されていない機械的で事務的な介護認定と、それに加えた小泉政治の介護保険「改革」による車椅子の「貸しはがし」という追い討ち。これが現場や実態を見ないで福祉・医療の削減に熱中する今の冷たい政治か、と実感。怒りを覚えました。鈴木さんが電話で担当者に抗議、数ヶ月後に予定されている再認定まで、当面今までのサービスの水準を維持することになりました。

安藤たい作は住民の声や実態に寄り添おうという姿勢がない今の政治をただすべくがんばります！

7/31大崎・西品川で5カ所 ハンドマイク宣伝を やりました！



街場に風を吹かそう！

青年司会者と二人で5カ所。演説では青年雇用の問題、〇二年に取り組んだ大崎駐輪場の改善運動などについてお話ししました。窓から手を振って応援してくれた方、「頑張つて」と声をかけてくれた方、たくさんの方からの励ましを頂きました！